

2023年3月期 第2四半期
決算説明資料

(証券コード：9663)



01 連結決算概要

02 セグメント別

03 業績見通し

04 TOPICS

01 連結決算概要

連結決算概要（貸借対照表）

（単位：百万円）

	2020年 4-9月	2021年 4-9月	2022年 4-9月	前期比
流動資産	24,075	23,881	21,874	△8.4%
貸与資産	8,391	9,107	10,865	19.3%
固定資産	26,155	30,602	33,735	10.2%
総資産	50,230	54,484	55,609	2.1%
流動負債	4,387	3,964	4,097	3.4%
固定負債	153	823	84	△89.8%
純資産	45,688	49,696	51,427	3.5%
自己資本比率(%)	91.0%	91.2%	92.5%	1.3%
1株あたり純資産(円)	2,932.71	3,167.31	3,271.52	3.3%

連結決算概要（損益計算書）

（単位：百万円）

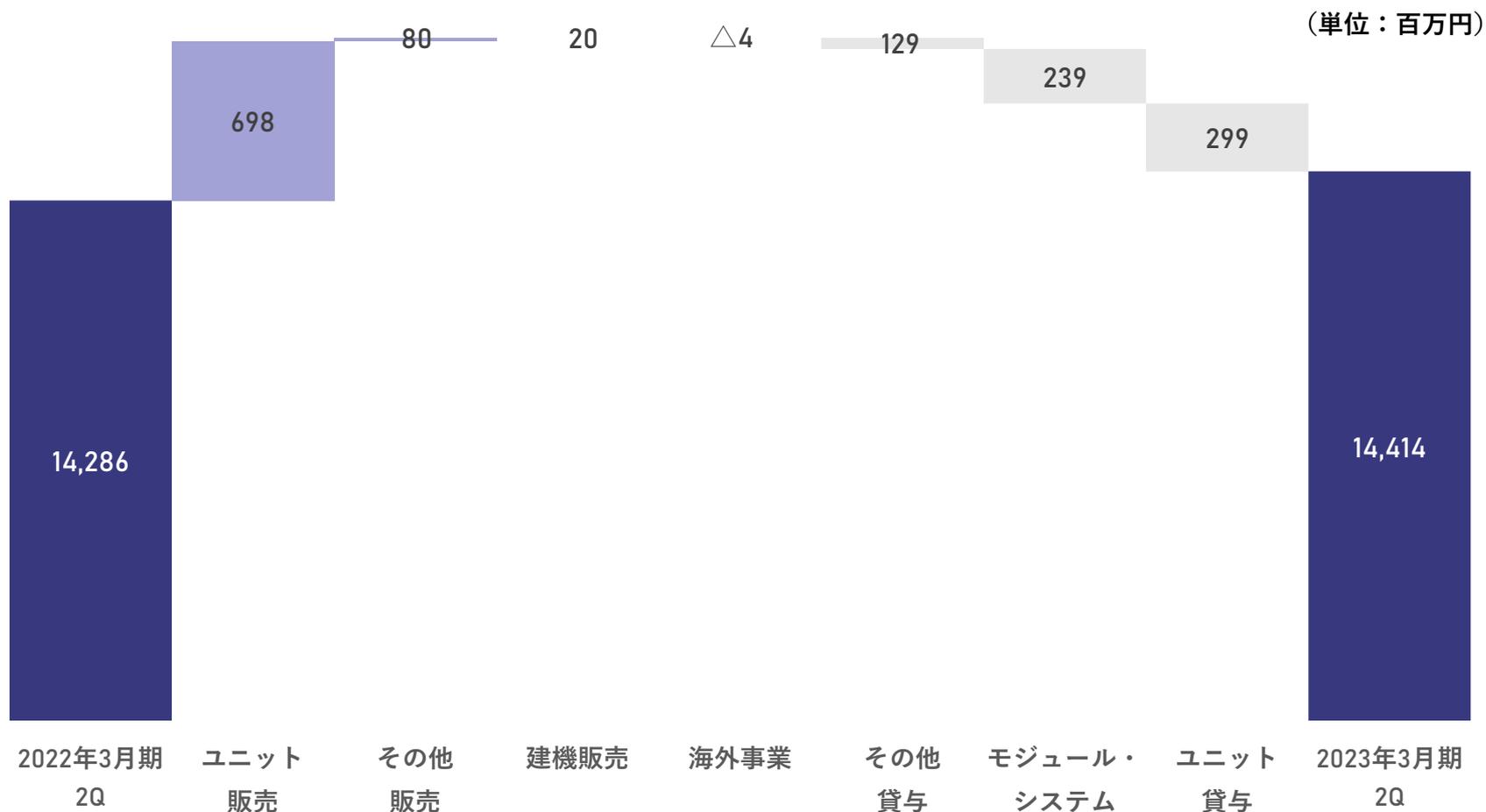
	2020年 4-9月	2021年 4-9月	2022年 4-9月	前期比
売上高	13,445	14,286	14,414	0.9%
販売収入	6,641	6,940	7,496	8.0%
レンタル収入	6,803	7,345	6,917	△5.8%
売上総利益	5,653	6,073	6,110	0.6%
販売費および一般管理費	3,806	3,998	4,068	1.8%
営業利益	1,847	2,075	2,042	△1.6%
経常利益	2,043	2,248	2,289	1.8%
当期純利益(※)	1,370	1,488	1,603	7.7%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

連結決算概要（要素別売上高増減）

当第1四半期連結累計期間は、昨年のオリンピック需要による貸与売上からの反動減をユニットの販売が補い微増収となった。

キャンペーン実施による展示場売上の増加が主要因で、モジュールシステム建築は完工の遅れから前年比減収となった。



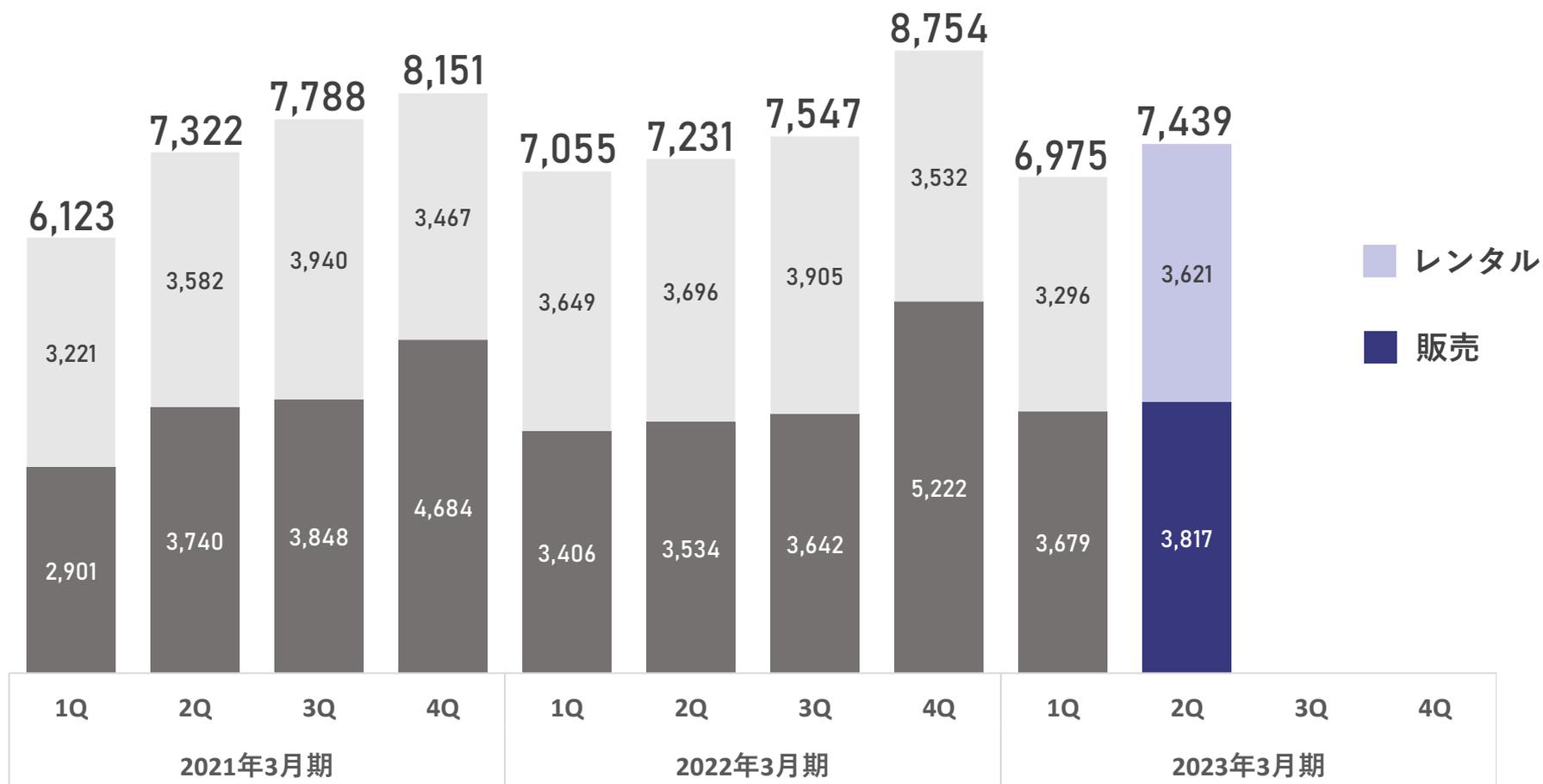
連結決算概要（セグメント別）

（単位：百万円）

	2020年 4-9月	2021年 4-9月	2022年 4-9月	前期比
売上高合計	13,445	14,286	14,414	0.9%
ユニットハウス事業	11,418	12,095	12,513	3.5%
モジュール・ システム建築事業	1,557	1,670	1,427	△14.5%
建設機械 レンタル事業	469	520	473	△9.1%
営業利益合計	1,847	2,075	2,042	△1.6%
ユニットハウス事業	1,730	1,848	1,855	0.3%
モジュール・ システム建築事業	132	189	160	△15.5%
建設機械 レンタル事業	5	55	48	△13.4%
全社消去	△21	△18	△21	-

連結決算概要（四半期ごとの売上高推移）

四半期ごとの売上推移はほぼ前年と同水準だが、前期は当該期間にオリンピック需要が計上されているため、貸与売上は減収となり販売売上が下支えした形は第1四半期と同じ傾向である。

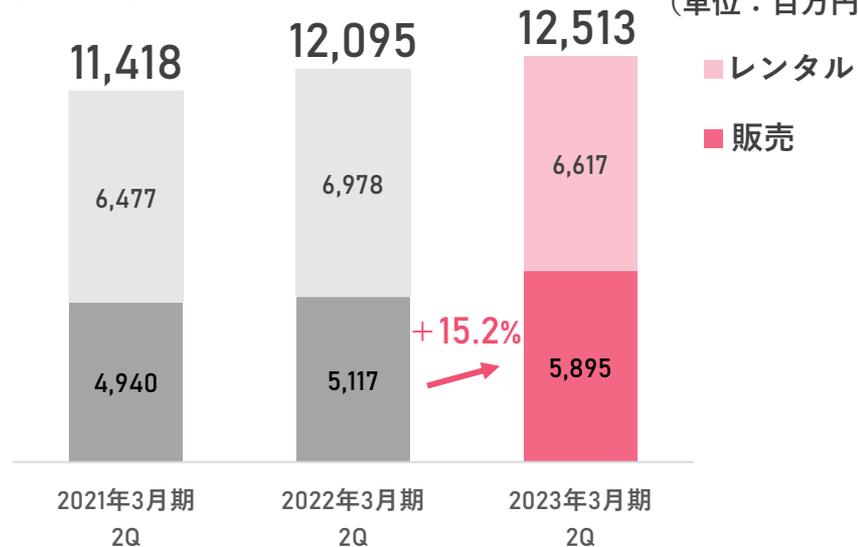


02 セグメント別

セグメント別（ユニットハウス事業）

[売上高]

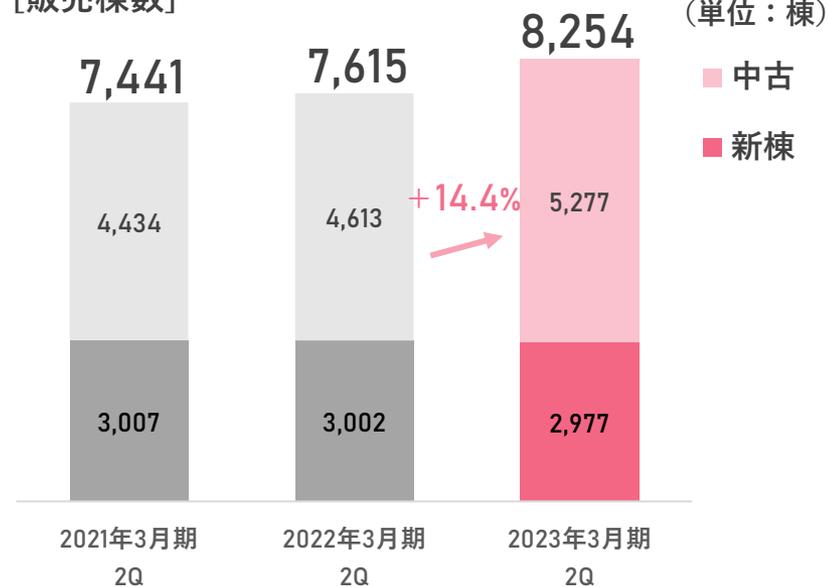
(単位：百万円)



展示場売上および
中古販売が**増加**

[販売棟数]

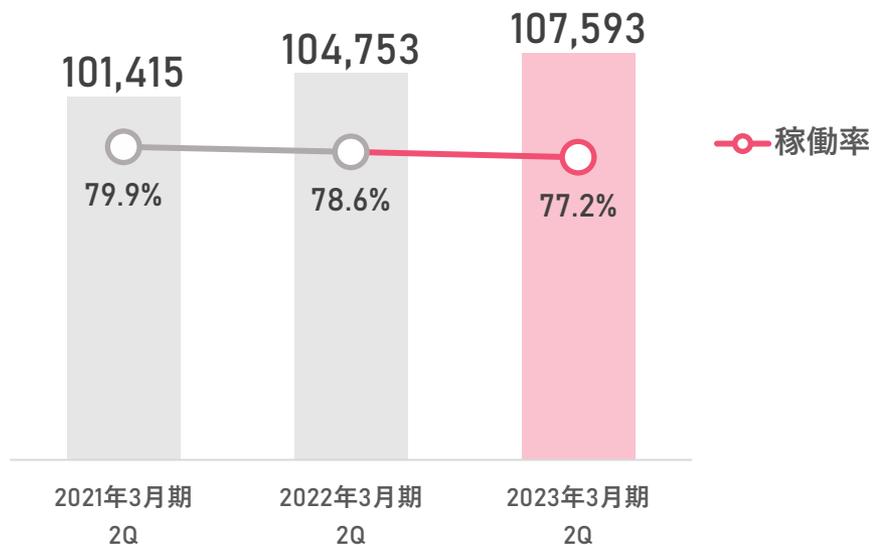
(単位：棟)



セグメント別（ユニットハウス事業）

[保有棟数と稼働率]

(単位：棟)

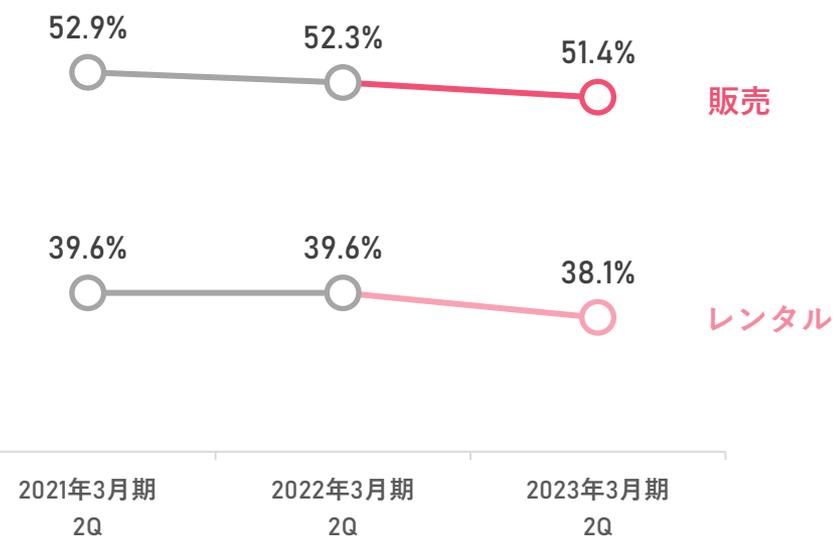


レンタル稼働棟数が**増加**

保有棟数の増加により、
稼働率は△1.4ポイント

貸与資産減価償却費の**増加**により、
売上総利益率は**マイナス**

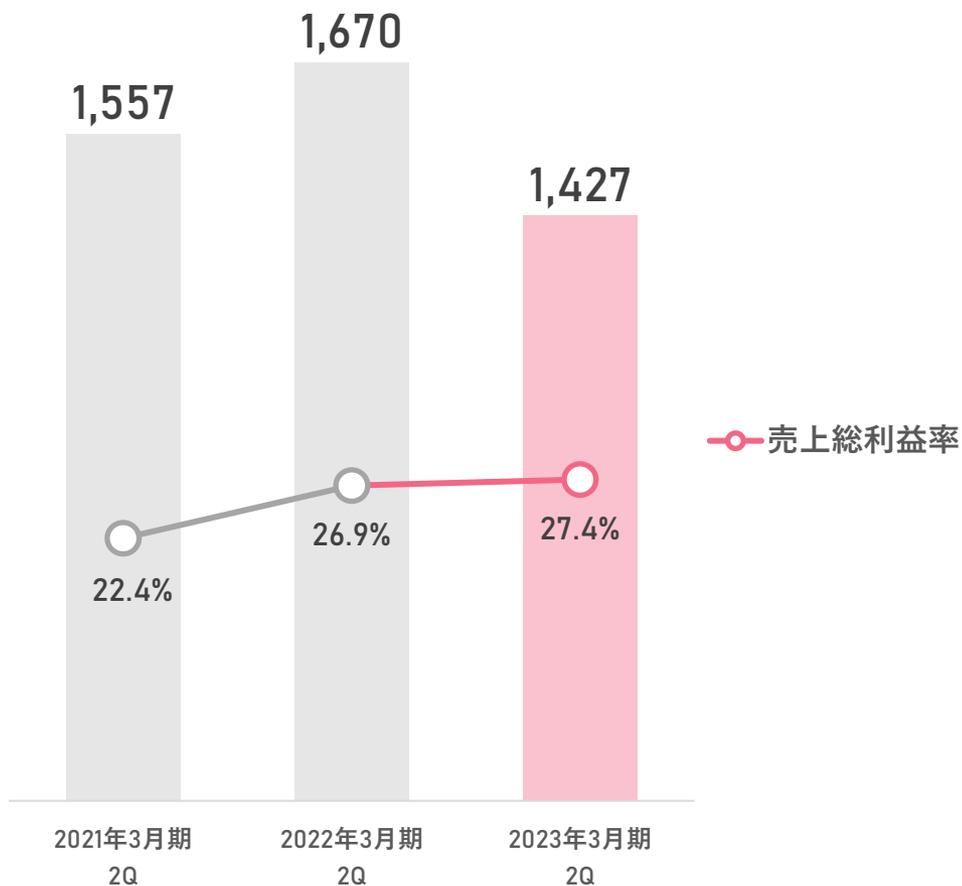
[売上総利益率]



セグメント別 (モジュール・システム建築事業)

[売上高と売上総利益率]

(単位：百万円)



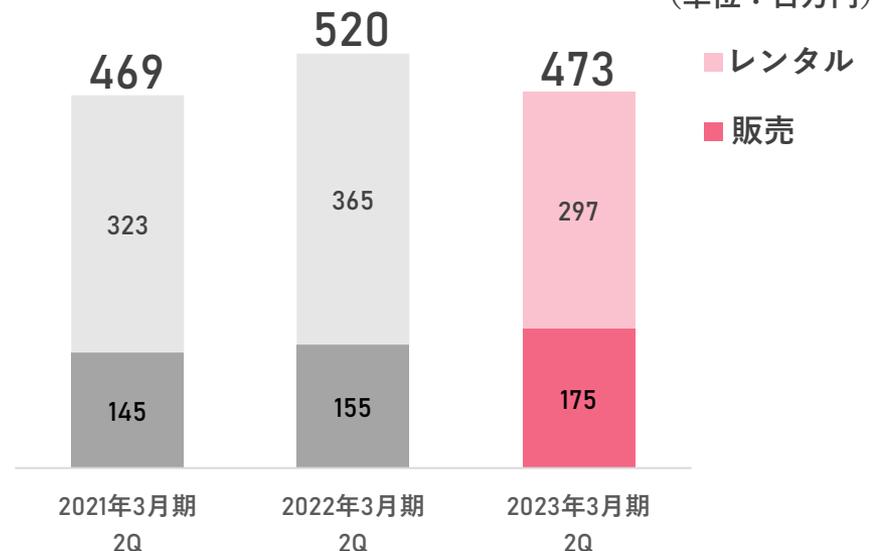
完工の遅れから減収だが
受注残は前年比増

中小型物件の増加により
売上総利益率は改善

セグメント別（建設機械事業）

[売上高]

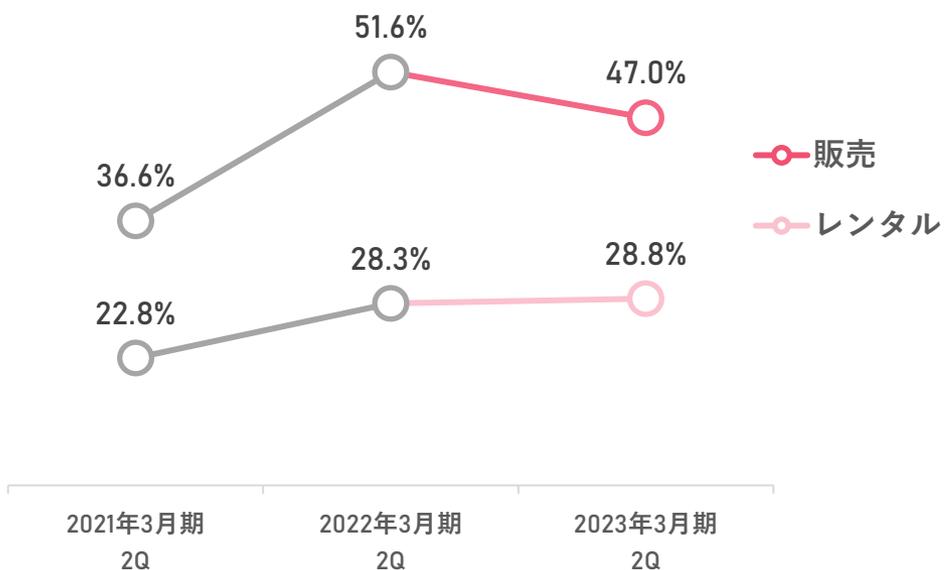
(単位：百万円)



公共事業の発注遅れからレンタル売上は**減少**

販売の売上総利益率は、仕入建機販売の増加により**減少**

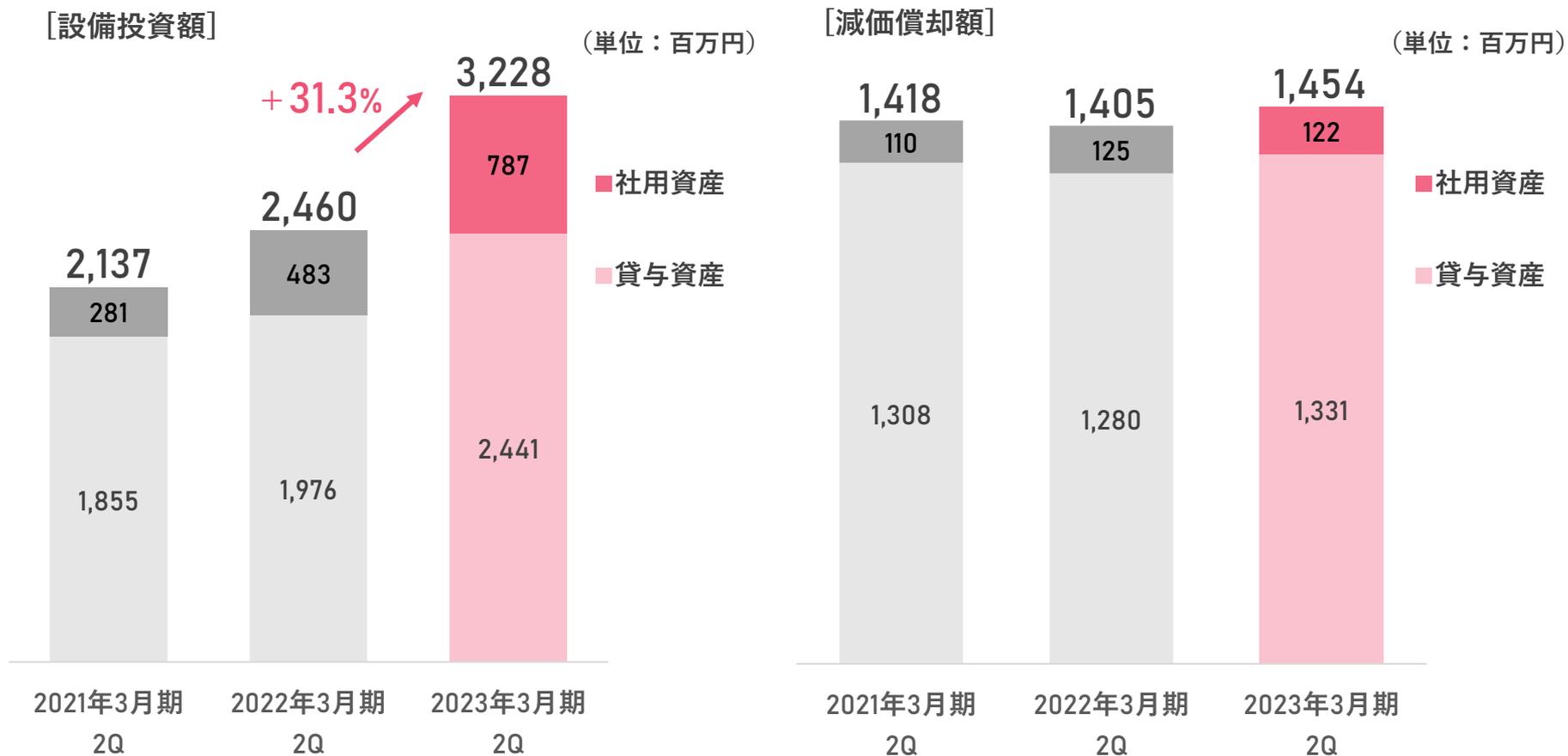
[売上総利益率]



設備投資額推移と減価償却額

設備投資額：積極的なレンタルハウスの生産と岡山新工場建設による**社用資産増加**（岡山新工場2022年8月より操業開始）

減価償却額：貸与資産の新棟卸により**減価償却費増**



業績見通し

※2022年10月24日業績予想修正

業績見通し（業績予想の修正）

（単位：百万円）

	前回予想	修正後	増減率
売上高	35,000	31,500	△10.0%
営業利益	5,200	4,650	△10.6%
経常利益	5,400	4,850	△10.2%
当期純利益(※)	3,700	3,300	△10.8%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

前期末の緊急事態宣言等の終了に伴い需要の回復はみられたものの、ウクライナショックや急激な円安等による、原材料の高騰ならびに景気の先行き不透明感から民間設備投資の落ち込みを招き、前回予想を下回る見込みとなりました。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものでありますが、今後当社グループの業績に大きな影響を及ぼす事象があった場合、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

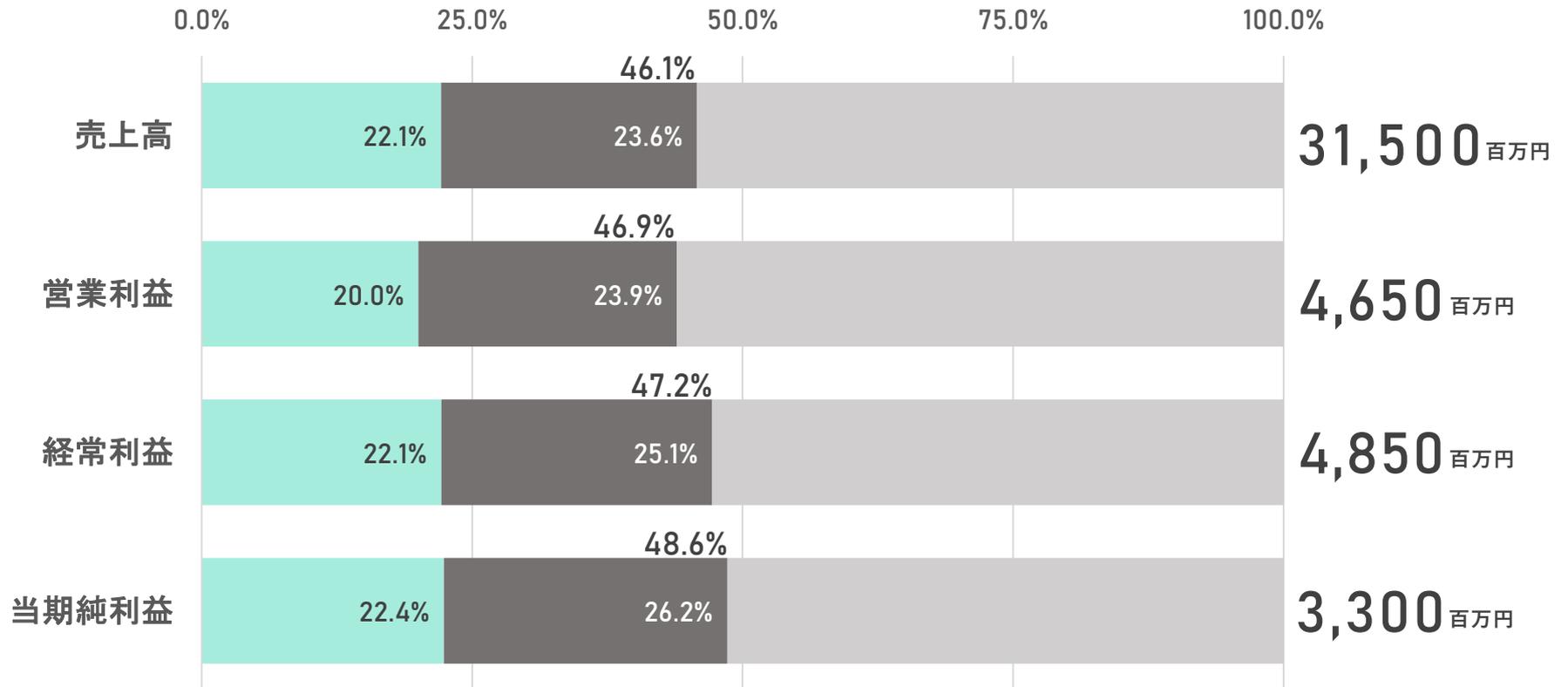
業績見通し

(単位：百万円)

	2021年3月期 通期	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期 (計画)	前期比
売上高	29,384	30,587	31,500	3.0%
営業利益	4,282	4,432	4,650	4.9%
経常利益	4,537	4,689	4,850	3.4%
当期純利益(※)	3,036	3,017	3,300	9.4%
総資産	53,409	55,902	62,000	10.9%
純資産	48,072	51,009	56,000	9.8%
自己資本比率(%)	90.0%	91.2%	90.0	△1.3%
1株当たり純資産	3,084.71	3,244.32	3,400.00	4.8%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

業績見通し（累計進捗率）



業績見通し（セグメント別）

（単位：百万円）

	2021年3月期 通期	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期（計画）	前期比
売上高合計	29,384	30,587	31,500	3.0%
ユニットハウス事業	24,145	25,194	25,800	2.4%
モジュール・ システム建築事業	4,073	4,221	4,500	6.6%
建設機械 レンタル事業	1,164	1,170	1,200	2.6%

営業利益合計	4,282	4,432	4,650	4.9%
ユニットハウス事業	3,880	3,843	3,950	2.8%
モジュール・ システム建築事業	421	489	550	12.5%
建設機械 レンタル事業	49	143	150	4.9%
全社消去	△68	△44	-	-

TOPICS

ナガワ最大の自社工場が中国地区に誕生

2022年8月より岡山新工場が操業開始

中国地区はもちろん、四国地区へのユニットハウス・モジュール建築資材の供給体制をより一層強化



ナガワ初のモジュールベースが春日部(埼玉県)にOPEN



従来の展示場

ユニットハウスのみ展示

モジュール
ベース

ユニットハウスに加えて、モジュール建築の
実物を見て触れて体感できる

免責事項

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※決算短信や、その他の資料は弊社HPにてご確認ください。

株式会社ナガワ IRライブラリー

<https://group.nagawa.co.jp/ir/library.html>

NAGAWA